

琴浦町公共交通体系再編計画検討委員会の設置について

企画政策課

1 設置目的

昨年度、琴浦町営バスの運行を担っていたバス事業者より、ドライバー不足による運行業務継続が困難である旨の意向が示され、今年度からは当該事業者と町内新規事業者の2社による運行体制に切り替えました。

ドライバー不足は、全国的な課題であり、今後も現在のバス路線を維持していくことは非常に困難な状況です。

バス運行が確保できる体制の構築及び本町における将来的な公共交通のあり方について、「琴浦町公共交通体系再編計画検討委員会」を設置し、1年間をかけて検討します。

2 検討委員会の構成

(1) 委員構成

鳥取大学 谷本教授、米子工業高等専門学校 加藤教授(座長)、県交通政策課、バス運送受託事業者、コンサルタント、町関係課

(2) 任期 令和元年度末

3 第1回検討委員会の概要

琴浦町内の公共交通に関する課題を共有し、委員による意見交換を行いました。主な課題として下記のようなものがある中、移動困難者の実態や利用状況等を調査し、効率的な運行や料金の適正化などのほか、地域の課題のひとつとして解決に向けた検討が必要といった意見がありました。

- ・ 全国的、恒常的なドライバー不足
- ・ 町営バス、スクールバスの路線重複
- ・ 利用者の減少
- ・ 事業費の負担増
- ・ 車両の老朽化

4 今後の予定

アンケート、ヒアリング等による調査、分析結果を受けて委員会での検討を行い、今年度中に公共交通体系再編計画案を策定します。